

外国語セミナー指導案集

令和6年11月30日(土)

授業の見どころ...1年生モジュール授業

にじいろぺっコロードをつくるために、
ともだちというカードをこうかんしよう！
(What color?)

- ①単元ゴールの目的と必然性：
全校のみんなに、図工で作った「にじいろぺっコロード」を見てもらい笑顔になってもらうために、友達と色カードを交換し、自分の好きな色を集める。
- ②既習活用：
互いに気持ちよくやりとりするために、「Here you are.」「Thank you!」「I'm sorry.」等、既習の英語表現の活用。
- ③既習活用のための手立て：
Classroom English Song、教師モデル動画、
中間指導（困りや工夫の共有）

授業の見どころ...2年生モジュール授業

学びゆうの友だちと動物シルエットクイズ大会をしよう
(What's this?)

- ①単元ゴールの目的と必然性：
シルエットクイズ大会をして、学級の友達の作品の良さや工夫を知ったり、お気に入りの部分を伝えたりするために、生き物の体の部分について、尋ねたり答えたりする。
- ②既習活用：
友だちの作品の良さや工夫を知ったり伝えたりした際に、気持ちよくやり取りするために、考えや気持ち、ほめ言葉を「I like ~.」「It's (cute).」等、既習の英語表現を活用してやり取りする。
- ③既習活用のための手立て：
HRTと児童のやり取り、思考ツールを活用したMy Goalの設定
中間指導（困りや広げたいほめ言葉の共有）

授業の見どころ...3年生外国語活動

自分の住む町のすてきな場所を友達に伝えよう！
(教材—Unit8:What's this?)

- ①単元ゴールの目的と必然性：
学年の友達と住む町の素敵な場所（お店や施設等）を詳しく知り合うために、自分の住む町にある素敵な場所を紹介する際に相手に伝わるように工夫しながら、色、形、大きさ、動物、果物、野菜など身の回りのものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う。
- ②既習活用：
相手に配慮しながら、自分が思う魅力を「I like ~.」「It's ~.」等で伝えたり、「Do you like ~?」等と質問を入れたりし、既習表現を活用しながらやり取りする。
- ③既習活用のための手立て：
Classroom English Song、Small Talk、導入時の教師モデル、
すてきな場所の写真、前時撮影した自分の動画、キーセンテンスの掲示、
中間指導（困りや広げたい質問の共有）、
ロイロノート（資料箱）に教師モデル動画

授業の見どころ...4年生外国語活動

大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドの
アイデアを広げ、大分大学の留学生にすすめてみよう！
(教材—Unit7:What do you want?)

- ①単元ゴールの目的と必然性：
大分大学の留学生にすすめるオリジナルサンドのアイデアを広げるために、どんな食材がほしいか相手に伝わるように工夫しながら尋ね合う。
- ②既習活用：
相手に配慮しながら、オリジナルサンドの食材について、What's this?と質問したり、like ~. It's ~.等で考えや気持ちを伝えたり、既習表現を活用しながら工夫してやり取りする。
- ③既習活用のための手立て：
導入時の教師モデル、「♪What do you want?」、動画の蓄積、Small Talk、
Classroom English Song、既習表現の教室掲示、
中間指導（困りや広げたい工夫の共有）

授業の見どころ...5年生外国語

「大分のすてきなところ」を北海道の5年生にしようか
いしよう (教材—Lesson7:I love my town.)

- ①単元ゴールの目的と必然性：
北海道の小学生に大分のおすすめの場所に「行ってみたい」と思ってもらうために、「おすすめ場所」そこで「見られるもの」「食べられるもの」「買えるもの」等についてカードを作って伝える。
- ②既習活用：
大分のおすすめの場所について、北海道の小学生に魅力が伝わるようにするために、We have ~. We can (see, enjoy, eat, touch) 等で「そこですること」を既習表現を工夫して活用する。
- ③既習活用のための手立て：
導入時の教師モデル、動画の蓄積、Small Talk、ペアトーク、
Classroom English Song、既習表現の教室掲示、絵カード
中間指導（困りや広げたい工夫の共有）

授業の見どころ...6年生外国語

Last1の歩みを未来に残すために、
将来の自分にビデオレターをつくらう
(教材—Lesson6:My best memory)

- ①単元ゴールの目的と必然性：
Last1(学年目標)であるこの1年間の歩みや個人の頑張りを未来に残す「小学校の思い出」の動画を撮るために、自分の一番の思い出を6年間で学習した表現を活用して、未来の自分に伝える。
- ②既習活用：
将来の自分に自分の思い出がより伝わる発表内容にするために、I like ~. It's ~. 等で考えや気持ちを伝えたり、went, enjoyed, ate, was といった過去形の表現を活用して思い出を詳しく伝えたりしながら、文章構成をしていく。
- ③既習活用のための手立て：
動画の蓄積（友達との共有）、Small Talk、グループトーク、教師モデル、
既習表現の教室掲示、中間指導（困りや広げたい工夫の共有）、
文章構成カード（ロイロノート）